

長浜市曳山博物館
企画展「曳山大工 藤岡和泉」関連事業

仏壇解析 最古から 2 番目の浜仏壇を解体する 見学者募集

長浜市曳山博物館に展示されている 2 基の浜仏壇は、現存するものとしては、日本でも最も古い仏壇と言われています。その内の延宝 8 年（1680）製作の仏壇は、その墨書銘が確認されて、令和 6 年に長浜市指定文化財となっています。

それに次ぐ古さを持つとされるもう 1 基については、過去に貞享 2 年（1685）の墨書や作者銘が確認されたと伝えられていますが、その証拠となる写真や記録が残っていません。

今回、博物館の企画展「曳山大工 藤岡和泉」（会期：7 月 23 日～9 月 28 日）に合わせて、貞享 2 年とされる仏壇を解体し、屋根の背面にあると見られる墨書銘・作者銘などを確認したいと思います。

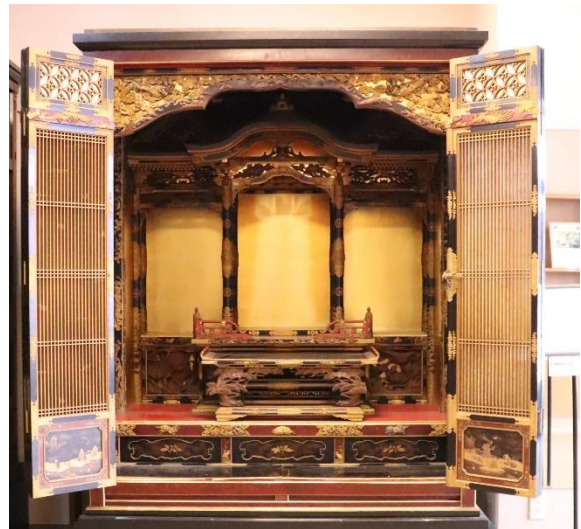
日 時 令和 7 年 7 月 23 日（水）

午後 1 時 30 分

～午後 3 時

会 場 長浜市曳山博物館
伝承スタジオ

技術者 下司貴之氏（蒔治）
樋口安彦氏（井上塗師屋）
解 説 長浜市長浜城歴史博物館
学芸員 坂口泰章氏
定 員 30 人（達し次第〆切）
資料代 500 円



解体する貞享 2 年の仏壇

見学希望の方は、下記の電話か E-mail まで、①氏名、②連絡先（電話番号）、③人数をお知らせください。

〒526 - 0059 滋賀県長浜市元浜町 14 - 8 長浜市曳山博物館

電話 0749（65）3300 E-mail:museum@nagahama-hikiyama.or.jp